

表2 2024年度詳細環境調査検出状況・検出下限値一覧表

物質 調査 番号	調査対象物質	水質 (ng/L)		底質 (ng/g-dry)		大気 (ng/m ³)	
		範囲 検出頻度	検出 下限値	範囲 検出頻度	検出 下限値	範囲 検出頻度	検出 下限値
[1]	アクリル酸及びそのエステル類 ※						
	[1-1] アクリル酸	86~1,400 43/43	61			8.2~39 5/5	3.8
	[1-2] アクリル酸メチル	nd~8.8 1/44	8.1				
	[1-3] アクリル酸エチル	nd 0/44	3.6				
	[1-4] アクリル酸ブチル	nd 0/44	4.3				
	[1-5] アクリル酸イソブチル	nd~4.3 1/44	1.1				
	[1-6] アクリル酸 <i>tert</i> -ブチル	nd 0/44	2.1				
	[1-7] アクリル酸オクチル	nd~28 1/44	17				
	[1-8] アクリル酸イソオクチル類	nd 0/26	72				
	[1-8-1] アクリル酸 2-エチルヘキシル	nd~210 3/44	23				
	[1-9] アクリル酸イソノニル類	nd 0/40	48				
	[1-10] アクリル酸デシル	nd~110 2/41	54				
	[1-11] アクリル酸ドデシル	nd~78 5/42	22				
	[1-12] アクリル酸オクタデシル	nd 0/42	17				
[2]	アルカノール類 (アルキル基が直鎖で炭素数が 10 から 16 までのもの) ※						
	[2-1] 1-デカノール			nd~360 25/26	1.1		
	[2-2] 1-ウンデカノール			nd~6.2 3/26	1.4		
	[2-3] 1-ドデカノール			nd~51 25/27	0.72		
	[2-4] 1-トリデカノール			nd~120 13/27	1.1		
	[2-5] 1-テトラデカノール			nd~390 26/27	0.76		
	[2-6] 1-ペンタデカノール			nd~400 24/27	0.91		
	[2-7] 1-ヘキサデカノール			nd~1,200 27/27	0.81		
[3]	アルキル硫酸 (アルキル基の炭素数が 8、9、10、12、14、16 又は 18 のもの) 及びその塩類 ※						
	[3-1] オクチル硫酸及びその塩類	nd 0/35	71				
	[3-2] ノニル硫酸及びその塩類	nd~200 1/35	40				
	[3-3] デシル硫酸及びその塩類	nd~5,000 2/35	69				
	[3-4] ドデシル硫酸及びその塩類	nd~2,800 21/35	81				
	[3-5] テトラデシル硫酸及びその塩類	nd~1,100 19/35	35				
	[3-6] ヘキサデシル硫酸及びその塩類	nd~2,900 22/35	48				
	[3-7] オクタデシル硫酸及びその塩類	nd~1,600 12/35	25				

物質 調査 番号	調査対象物質	水質 (ng/L)		底質 (ng/g-dry)		大気 (ng/m ³)	
		範囲 検出頻度	検出 下限値	範囲 検出頻度	検出 下限値	範囲 検出頻度	検出 下限値
[4]	N,N,N-トリメチルドデカン-1-アミノウムの塩類 ※	nd~6.4 12/30	1.1				

(注1) 検出頻度は検出地点数/調査地点数（測定値が得られなかった地点数及び検出下限値を統一したことで集計の対象から除外された地点数は含まない。）を示す。1地点につき複数の検体を測定した場合において、1検体でも検出されたとき、その地点は「検出地点」となる。

(注2) 範囲は全ての検体における最小値から最大値の範囲で示した。そのため、全地点において検出されても範囲がnd~となることがある。

(注3) は調査対象外の媒体であることを意味する。

(注4) ※は排出に関する情報を考慮した地点も含めて調査した調査対象物質であることを意味する。

(注5) [1-8] アクリル酸イソオクチル類の結果は、アクリル酸イソオクチルとして市販されている製品を測定した際のクロマトグラフにおいて一定のリテンションタイム内で検出される複数のピークのうち、[1-7] アクリル酸オクチル及び[1-8-1] アクリル酸2-エチルヘキシルの標準試薬で検出されたピークと同一のリテンションタイムで検出されたピークを除く主要な5つのピークについて定量したものである。